**青梅ロケーションサービスにおける新型コロナウイルス感染症予防対策チェックリスト（別紙）**

【青梅ロケーションサービス】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属社名 |  |
| 所属先住所 |  |
| 現場責任者 |  |
| 連絡先（携帯） |  |

作品名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　の撮影に際し、以下の新型コロナウイルス感染症予防対策と、青梅ロケーションサービスにおける新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン等を十分に理解し、責任をもって行うことを報告するとともに、以下のすべての内容の確認が取れなければ、撮影支援が受けられない場合があることを承諾する。

**１　事前対策について**

　□　撮影関係者および出演者に、発熱・咳・下痢等の症状がある者、新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある者、同居家族や身近な知人の感染が疑われる者、過去１４日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者との濃厚接触がある者はいない。

　□　撮影関係者および出演者、エキストラ等が撮影期間に必要なマスク、手袋、アルコール消毒液等の用意ができている。

　□　撮影現場では毎日検温ができる体制になっている。

**２　撮影現場において**

　□　撮影現場では社会的距離の確保を徹底する。

　□　現場責任者は青梅ロケーションサービスや施設管理者と連絡を取り合うとともに、撮影時間を少なくするように努力する。

　□　マスク・手袋着用や手指消毒を徹底する。

　□　撮影関係者の体温チェックを徹底するなど、撮影関係者の撮影中の行動確認を確認・管理する。

　□　セットや施設内など屋内においては、原則、自治体等が定めるイベント開催の人数制限を守る。

　□　撮影への車両での移動は、1台における乗車人数を最小限（社会的距離を取るなど感染防止策）に抑え、必ず換気をしながら移動する。

　□　宿泊を伴う場合は、一人一部屋(シングル)を確保している。

　□　全ての食事はケータリング形式ではなく、表面の汚染を防ぐ方法を用い、一個ずつパッキングされたものを提供すると共に食事を扱う従事者は、食事の都度、事前に手指消毒や手洗いを済ませ、マスクと手袋を着用する。

　□　清掃やゴミの廃棄を行う者は、マスクや手袋を着用し、終了後は手洗い、消毒を徹底する。

　□　撮影地でゴミを処理する際は、ごみ処理のガイドラインに沿って感染予防を行って処理する。

　□　ロケ撮影の際、通行人、見学者が密にならないよう配慮を徹底する。

　□　撮影終了後は、映像製作者の責任において、撮影現場の消毒、清掃を行う。

**３　エキストラについて**

　□　エキストラの募集は最小限に留め、エキストラの連絡先や身元の管理は行う。（青梅ロケーションサービスではエキストラ募集は当面行わない。）

　□　エキストラの健康状態および行動履歴の確認は取れている。

**４　感染が疑われた場合の対処**

　□　感染が疑われる者が出た場合、直ちに隔離して共有した物などを消毒するとともに、必ず青梅ロケーションサービスと保健所へ連絡すること。

　□　感染が確認された場合、直ちに撮影を中断し、保健所等公的機関の指導に従う。

【裏面あり】

**撮影事業者による【ロケーションに当たっての業務別感染予防対策】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **カテゴリー** | **チェック** | **予防対策** |
| **全　　般** |  | * + 体温チェック、衛生指導（咳エチケット等）を毎朝行い、体調が悪いスタッフは出勤させない。体温が平熱より高いスタッフは直ちに作業を中止し、医師の診察を受ける。
 |
|  | * + 必須防護用品の携行（フェイスシールド＝監督・ヘアメイク、ゴーグル＝ヘアメイク・制作部、エプロン＝ヘアメイク・衣裳・制作部、酸素＝緊急用、マスク＝全員、手袋＝全員、非接触型体温計、など）可能な限り、各スタッフはマスク、作業用手袋を持参するよう促す。
 |
|  | * + ソーシャル・ディスタンスが十分に保てないような群集シーンは、制作上伝染のリスクが高すぎると考えられるため、許可できない。例）ナイトクラブのシーン、集会、デモ、応援シーン
 |
|  | * + 撮影中の俳優以外のスタッフは、常にマスクを着用。撮影中以外は、俳優もマスクを着用
 |
| **健　　康** |  | * 全ての撮影スタッフは、チーム編成時に健康状態、旅行歴、新型コロナ感染者との接触の　　　有無を申告し、書類に署名をする。
 |
|  | * スタッフ全員が頻繁に手洗いを実践する。（水やハンドソープ、石鹸がない場合は、アルコ　　　　ール含有量60パーセント以上を使用する）
 |
|  | * ロケバスをはじめとしたロケ車両では、乗車するスタッフによって密集を作らないよう注意す る。（極力、自車の利用を促す、ロケ車両を増やす、換気の徹底）
 |
| **スケジュール** |  | * + 前日建て込み、前日照明作業を心がける。セット準備等は美術部と照明部とで時間帯を分けるなど密集しないよう配慮する。
 |
|  | * + ロケバス等に乗っている際は、マスクを着用し、手袋をする。できるだけ複数台を用意し、座 席に余裕をもって座る。
 |
| **機　　材** |  | * + PC、携帯電話、文房具等は他人と共用しない。誰がどの機材を取り扱うかを取り決め、同じ人が同じ機材に触れるようにする。複数のスタッフが同じ機材に触れないようにする。
 |
|  | * + 狭いスペース（20平方m以下）での撮影の場合、撮影は最小スタッフに限る。例）俳優、カメラオペレーター、フォーカス 、音声技師等※その他のスタッフはリモートビューイング等で対応
 |
| **食　　事** |  | * 「ビュッフェ形式」での食事提供は禁止し、一個ずつパッキングされたものを提供する。スタッフ密度を下げるため、食事の休憩時間をパートごとに時間差で取るなどの工夫をする。
 |
|  | * + 撮影現場への到着・現場入りに段階を設け、スタッフの密集を防ぐ。
 |
|  | * + 地域のエキストラ招集はリスクが高いため、極力避ける。やむを得ない場合は、他のスタッフと同じ手順で検温、消毒、マスク・手袋着用等を行う。
 |
| **ロケハン** |  | * + 近隣に配慮し、可能な限りロケーション同意書に署名してもらう努力をする。
 |
|  | * + 水道がないロケ地でも、手洗い場を確保する。部外者が入らないよう注意する。
 |
| **メイク等** |  | * + メイク用品、道具等は俳優別に用意する。現場でのメイク直しは極力行わない。
 |
|  | * + スタイリングの前後には、タレント、スタイリスト共に手洗い、消毒を実施。バックグラウンドのタレントは、可能な限り私服を着用し、自宅で着付ける。
 |